

埼玉県における 農地中間管理事業の推進について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

埼玉県農業の現状・課題

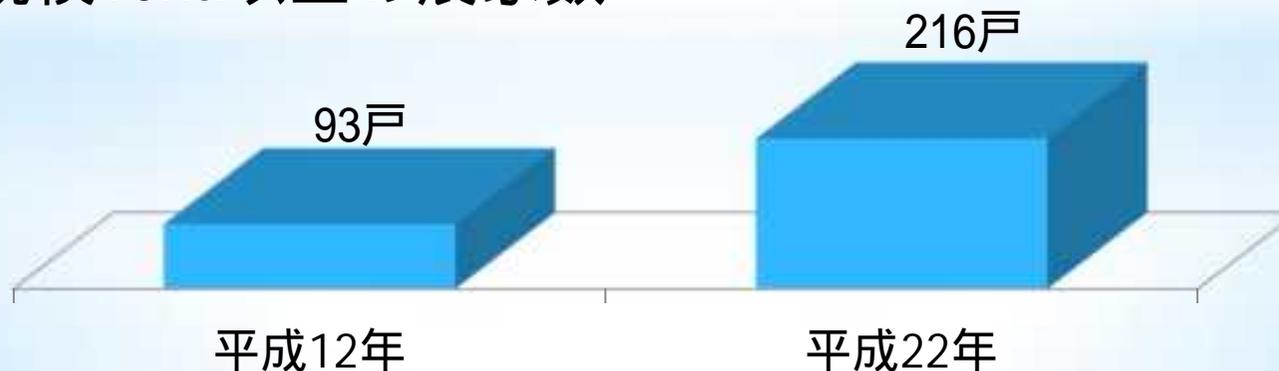
多くの高齢農家がリタイア期
(担い手への農地集積が課題)

年齢別農業経営者数(販売農家)(平成22年) <農林業センサス>



大規模農家は着実に増加
(更なる育成、分散したほ場の団地化が課題)

経営規模10ha以上の農家数 <農林業センサス>



基本的な考え方

担い手へ農地を集積・集約化する中心となる
機関として農地中間管理機構（（公社）埼玉
県農林公社）を位置付け

人・農地プランと連動して推進

農業基盤整備と併せて推進

平成26年度の取組状況と平成27年度の目標

	H26年度実績	H27年度目標
機構借受面積	102ha	
転貸面積	74ha	800ha

平成26年度実績を検証しての課題

農家段階までの**周知が不足**

推進大会、広報、様々なルートによる周知活動

話し合いによる、**合意形成には時間が掛かる**

早期の検討着手

地域のリーダーの皆さんへ

農地所有者・耕作者と**地域の課題を共有**
(5年、10年先の担い手、遊休農地の状況)

課題の解決に向けて、**地域で話し合い**
(将来の担い手・農地の出し手の明確化)
人・農地プランの作成

農地の集積・集約化に当たっては、**農地中間
管理事業を活用**

必要に応じて基盤整備を実施

地域農業の維持・振興
競争力のある力強い農業の実現